

お知らせ

～地域特化型ベンチャーキャピタルとして、現場主義による 地方創生とスタートアップを創出～ ミライドア TohokuのMBOによる独立のお知らせ

ミライドア Tohoku 株式会社（旧・FVC Tohoku 株式会社）の代表取締役である小川 淳は、マネジメント・バイアウト（MBO）を 2026 年 4 月 10 日付けで実施し、業務を開始いたしましたのでお知らせいたします。

◆当社の背景

当社はこれまで、ミライドア株式会社(<https://www.fvc.co.jp/>)の東北拠点として、地域金融機関や地方自治体と連携し、東北地方を中心に多数の「地方創生ファンド」の運営を行ってまいりました。

この度、地域に根ざしたより迅速な意思決定と、LP（リミテッド・パートナー）の皆様ならびに投資先企業とのさらに深い伴走体制を構築するため、MBO による独立を行いました。今後も同様にこれまで培ってきたファンド運営のノウハウを引き継ぎ、地方経済、産業の持続的な発展に貢献してまいります。

◆ファンド運営の基本方針

当社が最も重視するのは、ファンドの出資者である LP の皆様、そして地域の起業家の皆様との密なコミュニケーションに基づく「現場主義」です。透明性の高いファンド運営と、出資者の皆様、投資先企業、地域社会がともに発展する「三方よし」の精神で、皆様の期待するリターンと地域活性化の両立を目指します。

◆当社の事業内容

当社はエクイティマネーの供給を通じて地方経済とスタートアップ、中小企業の持続的成長を後押しすることを使命とし、以下の事業を推進します。

1. 地方自治体、地域金融機関との共同ファンド組成・運営：地域特性や多様なニーズに応えるファンドの企画・運営を行います。地方創生においては、IPO 回収以外の投資手法も提供し、真に地域にとって必要不可欠な企業の支援を行います。
これまでのファンド事例：もりおか SDGs ファンド
2. スタートアップをターゲットとしたテーマファンド運営：事業会社のオープンイノベーションとスタートアップの連携したテーマファンドをこれまでの知見を最大限に活かし、スタートアップと大企業連携からイノベーションの創出を目指し、スタートアップの伴走型支援を展開します。
これまでのファンド事例：Tohoku ライフサイエンス・インパクトファンド
ふくしまメディカルヒルズファンド

3. 起業家および地域企業への伴走支援：地元起業家や地域課題の解決に取り組む企業への投資とハズオン型の経営支援を実行します。また、インキュベーション施設の運営等を通じた起業家育成も継続してまいります。

◆地方創生を体現する組織づくり

当社は、投資活動のみならず「働き方」の面でも地方創生を体現します。地元人材の積極採用やリモートワークの推進、多様なキャリア形成支援を通じ、多様な経験や価値観を持つ人材が地域に根ざして柔軟に働ける環境を整備いたします。これらについては投資先企業との間でこの価値観を共有し、地域において特に若手人材の定着を図ります。

◆当社代表のプロフィール

小川 淳（おがわ じゅん）

1968 年岩手県一関市生まれ。地元金融機関（株式会社北日本銀行）での 10 年間の勤務を経て、2002 年に旧フューチャーベンチャーキャピタル株式会社に入社。岩手・東北を拠点に「いわてインキュベーションファンド」「もりおか起業ファンド」「もりおか SDGs ファンド」をはじめとする多数のベンチャー・地方創生ファンドを企画・設立・運営し、これまで投資に関与した社数は 100 社を超える。2024 年には TOLIC を背景とした「Tohoku ライフサイエンス・インパクトファンド」を組成し、岩手を中心に東北におけるライフサイエンス産業の創出に貢献している。2016 年からは盛岡市産業支援センターのセンター長兼インキュベーションマネージャーも務める。

「起業家の夢の実現を応援する」を投資理念とし、起業家育成と地域インパクト投資を牽引する。

<会社概要>

商 号：ミライドア Tohoku 株式会社

本店所在地：岩手県盛岡市大通 3 丁目 6 番 12 号 開運橋センタービル

役員構成：代表取締役社長 小川 淳

取締役 熊谷 博人

監査役 黒澤 芳明

資本金：10 百万円

事業内容：ファンド運営(地方創生ファンド・テーマファンド)、インキュベーション施設運営など

本件に関するお問い合わせ

ミライドア Tohoku 株式会社 担当：主濱

電話：019-606-3558 メール：info@fvctohoku.co.jp